

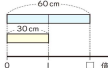
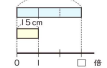
5 本時のねらい

図や式などを使って、もととなる数の何倍かを、根拠をもとに説明することができる。

6 学習過程

	学習活動・内容 (T 主な発問・C 児童の反応)	時間	○指導上の留意点 ◎研究主題に迫る手立て ◇評価									
課題設定	<p>1 本時の学習課題を捉える。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>のばす前</td> <td>伸ばした後</td> </tr> <tr> <td>包帯 A</td> <td>30 cm</td> <td>→ 60 cm</td> </tr> <tr> <td>包帯 B</td> <td>15 cm</td> <td>→ 45 cm</td> </tr> </table> <p>よく伸びる包帯はどちらでしょう。 T: よくのびるとはどういうことでしょうか。 C: たくさん伸びること。 (1) 本時のめあてをつかむ。 どのようにくらべるとよいのかな。 (2) 課題解決の見通しをもつ。 T: どんな方法で比べるとよいと思いますか。 C: 差で比べる。 C: 差で比べると同じ 30 cm になるから同じということになる。 C: 倍で比べる。</p>		のばす前	伸ばした後	包帯 A	30 cm	→ 60 cm	包帯 B	15 cm	→ 45 cm	7 一斉	<p>○ 前時までの動物の親子について、振り返ることで、倍の見方について確認する。</p> <p>◎ 包帯が伸びる様子を見せることで、どちらがよく伸びるか比べることに興味を高められるようにする。 ○ 「よくのびる」ということがどういうことか問うことで、問題の意図を捉えることができるようにする。</p> <p>○ 最初は網掛の部分を見えないように隠し、伸ばした後の長さを先に提示することで、伸ばす前の長さ(もとになる数)に注目することができるようにする。</p> <p>○ 差が同じになることを確認し、差を使った比べ方では、比較できないことに気付かせる。</p>
	のばす前	伸ばした後										
包帯 A	30 cm	→ 60 cm										
包帯 B	15 cm	→ 45 cm										
課題解決	<p>2 自分の考えをまとめる。 C: $60 \div 30 = 2$ $45 \div 15 = 3$ C: 図に表す。 C: 伸ばす前の包帯を同じ長さにする。</p> <p>3 自分の考えを説明し合う。 C: 何倍かで比べると・・・A A $45 \div 15 = 3$ B $60 \div 30 = 2$ T: (図や式を指して)どのように考えたか分かりますか。 C: (再生したり、ともだちの考えを予想したりして、説明する。) T: 近くの人とどのように考えたのか話してみましょう。 C: (それぞれ説明し合っている。) T: 似ている考えはありますか。 T: どのように比べればよいかな。 C: 倍で比べるとよい。</p>	8 個人 20 一斉	<p>○ 思考過程がわかるように、図や式を書いたり、言葉で説明を書いたりするよう助言する。</p> <p>◎ 図や式を見て考えを読み取ったり、言葉から式を考えたりすることで、お互いの考えを共有することができるようにする。 ◎ ペアや小グループでの活動を取り入れ、相手を意識して考えを伝え合うことができるようにする。 ○ 自分の考えを言葉にできない児童には、教師が説明を補充するなどの支援をする。</p> <p>○ 図や式に書かれている数字が何を表しているのかを問うことで、根拠を明らかにして説明することができるようにする。</p> <p>◇ 差で比べられない場合、割合に着目して比較する方法を考え、説明している。(観察・ノート)</p>									
振り返り	<p>4 本時のまとめをし、学習を振り返る。 (1) 本時のまとめをする。 もとにする大きさがちがうときには、倍を使ってくらべることがある。 (2) 適用問題を解く。 ・ 教科書 P 119 4 (3) 振り返りを書く。 ・ 分かったこと ・ 友達の考えのよさ ・ 新たな課題</p>	10 一斉	<p>○ 「割合」という用語について押さえる。</p> <p>○ どのように考えたのかが分かるように、式や単位をしっかりと記入させる。</p> <p>○ 本時のがんばりを称賛するとともに、次時への学習の意欲を高めることができるようにする。</p>									

7 板書計画

よくのびる包帯。どちらでしょう。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>A</td> <td>30cm → 60cm</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>15cm → 45cm</td> </tr> </table>	A	30cm → 60cm	B	15cm → 45cm	㉞ どのようにくらべるとよいのかな。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>式 $60 \div 30 = 2$ 2 倍</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>式 $45 \div 15 = 3$ 3 倍</p> </div> </div> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 2px; display: inline-block;">2 倍より、3 倍の方がよくのびたと言える。</p>	㉟ もとにする大きさがちがうときには、倍を使ってくらべることがある。 もとにする大きさを 1 とみたとき、くらべられる大きさがどれだけにあたるかを表した数を、 割合 という。
A	30cm → 60cm					
B	15cm → 45cm					